

看護職員の負担軽減等に対する取組み（R7年度）

NHO熊本南病院では、看護職員の負担軽減及び処遇改善に努め、働きやすい職場環境の実現に向け下記の項目について取組みを行っています。

取組み項目	具体的内容
1. チーム医療の推進と専門性を活かした役割分担	
組織横断的チームの充実	・院内ディケア「ほっとおれんじ」の実施 (認知症・認知機能低下の患者に対する活動)
療養介助専門員の準夜勤導入	・準夜帯の看護・介護サービス強化
2. 他部門との業務分担	
栄養科との連携	・経管栄養剤専用ボトルの栄養科での洗浄・乾燥
薬剤師との連携	・病棟担当薬剤師による持参薬の鑑別
臨床工学技士との連携	・人工呼吸器の点検と回路交換の実施
臨床検査技師との連携	・FMS導入によって業務軽減を諮り、外来患者対応に充てる
医事部門との連携	・看護必要度算出における具体的な集計の実施
3. 勤務体制の改善・業務内容の見直し	
教育・研修内容の調整	・委員会開催や教育時間について内容に応じた回数と時間配分 ・e-learning活用による教育委員の負担軽減
看護・介護ケア用品の見直し	・入院セット、オムツセットの導入 ・人工呼吸器の回路のディスプレイ化 ・ディスプレイ吸引器の導入により業務軽減を図り、看護業務のシフト
看護補助者の活用	・看護業務のシフトによる看護師の負担軽減
一般・医療消耗品の中央管理	・SPD導入に伴う在庫管理業務の削減
超過勤務時間の削減	・勤務時間帯毎に色を分けたユニフォームの導入による勤務時間遵守の意識向上
外来業務の負担軽減	・人間ドックにおける当日判定の変更